

最近の出来事

リハ学会に参加しました!

約2年ぶりに現地開催された日本リハビリテーション医学会に参加し、他院や訪問系サービス等のポツリヌス治療や地域包括連携に関する取り組みなどの演題を拝聴してきました。今後のリハビリに活かせるよう取り組んでいきたいと思えます。



味酒地区予防教室を開催しました!

11月8日 味酒公民館にて、まちづくり協議会 福祉部と味酒地区高齢者クラブのジョイント企画でウォーキング教室を行いました。30名の方の参加を頂きました。新型コロナの影響から久しぶりの予防教室となり、大変楽しい時間を過ごすことが出来ました。



ベット入替作業を行いました!

患者さんが安全で快適な入院生活を送れるように、病棟のベットの入替を行いました。1日がかりの作業となりましたが、より良い環境となりました。



地方祭で賑わいました!

約3年ぶりに、10月7日の地方祭で外の駐車場敷地にお神輿を迎え入れました。鉢合わせは行わず休憩のみでしたが、季節の日常の風景が少しづつ戻りつつあります。



スマイル大使 任命!



笑顔を決やさないようこれからも頑張ります。
医事課 山本 真理乃



毎年、おおぞら病院では、職員間の投票によって、笑顔が1番素敵な職員をスマイル大使として選出しております。今年の投票第1位に、上記の方が選ばれました。選ばれた職員は、スマイル大使のバッジを名札につけておりますので、ぜひ見つけてください。

第6回写真コンテスト開催!

今回のテーマは「冬」です。花や雪景色、ぬくもりを感じる風景等、様々な冬にちなんだ作品がありました。審査の結果、応募作品の中から5作品が選ばれました。

〈最優秀賞〉林 菜名(医事課)
作品タイトル:竹椿 ※写真は本表紙に掲載
「以前、京都に旅行へ行った際に撮影しました。竹に生けられた椿が冬を想わせる1枚になりました。」

〈優秀賞〉長尾 葉月(医事課)
作品タイトル:スノーボーイ ※右掲載の写真
「青空と白い雪の中、映えた友人の後ろ姿が絵になる1枚になりました。」

〈佳作〉岩井 真美(介護福祉士)
〈入選〉井上 愛(医師)/菊川 秀世(連携室)



病院を支える

裏方さん Vol.3

今回は、院内の売店業務を担当されている株式会社KEN STORYさんのお仕事内容を紹介します。患者さんや職員に必要な日々の飲食品、生活雑貨、衛生用品や新聞・雑誌を扱っています。来院の際は、ぜひ1F売店をご利用ください。



売店入口は車椅子でもスムーズに入店できます。



利用しやすいように陳列には気を付けています。

基本方針

1. 患者さん中心の医療 「笑顔であいさつ」を心掛け、患者さん中心の心の通った医療を行います。
2. 質の高いチーム医療 「専門職としての知識・技術の向上」に努め、質の高いチーム医療を実践します。
3. 地域に貢献できる医療 「ともに生きる」の精神で、地域の皆さまと共に安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。



特集:そらのお仕事 訪問リハビリテーション

第6回 おおぞら病院写真コンテスト(テーマ「冬」) 最優秀作品賞: 林 菜名(医事課)

明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染が確認されて3年になりますが、今年こそは、皆さんが安心して生活ができる環境が訪れることを願っております。

さて、事務部の運営につきまして、以下の項目に注力して取り組みたいと考えています。まずは、働き方改革です。勤務状況を正確に把握して、適正な人員体制の確保、時間外勤務の削減、ワークライフバランスの実現等に努めて参ります。次にデジタル化です。業務の効率化を図るためにはデジタル化が不可欠であり、働き方改革、ペーパーレス化とあわせて検討して参ります。次に支出の抑制です。サービスや物の価格上昇が病院の収益に大きく影響しています。予算管理を行い、適切に運用していきたいと思えます。また、特に支出が増加している電気料金についても削減への取組みを検討していきます。以上の取り組みによって、微力ですが、働きやすい職場環境の整備と病院経営の安定化に貢献していきたいと思えます。

事務部部长 安波 充也



理念

私たちは、地域の皆さまに親しまれ、信頼され、満足される病院を目指します

そらのお仕事

訪問リハビリテーション

おおぞら病院からの訪問リハ

訪問リハは現在、理学療法士2名体制で業務を行っており、ご自宅やサービス付き高齢者向け住宅等に訪問させて頂いております。対象はかかりつけがおおぞら病院の方で、且つ介護保険の認定を受けられている方となっています。又、当院の特徴として電気刺激を併用しての理学療法や装具療法等入院時から担当スタッフと情報交換をしながら継続して提供できる体制を作っています。

詳しくはこちら▶



物品操作

電気刺激しながらリハしています!



歩行練習

屋外歩行練習中です。

今後の目標

理学療法士としての専門性を高めていき、より良いリハを提供できるように努めていきたいと思ひます。利用者さんや家族の方との関係性を大切にしながら、信頼される理学療法士を目指します。



おおぞら病院 訪問リハビリ訪問エリア



2人で一生懸命頑張っています!

Staff

浦上 将一

うらがみ しょういち / 在職8年目

Staff

松本 幸加

まつもと ゆきか / 在職11年目

仕事のやりがい

私たちセラピストは、入院中から患者さんの日常生活の場面を想定してリハビリの計画を立てるようにしています。訪問リハでは利用者さんのご自宅に伺い、実際の生活の様子を拝見することで、より創意工夫できることもあります。身体機能面での関わりだけでなく、利用者さん一人一人がより良い生活を送って頂けるよう、動作方法を工夫したり、福祉用具の選定を行ったりしています。どのようにすれば利用者さんの出来ることが一つでも増えていくかを考えながら取り組んでいくことにやりがいを感じています。



看護師さんと協力してリハをしています!

Staff

大木 千誉

おおき ちよ / 在職8年目

仕事のやりがい

訪問時、長く在宅生活を継続されている方から「変わらず過ごせていますよ」と聞けると安心します。また、退院直後の方は、病前との生活の違いに戸惑ったり落ち込んだりしている方が多いように思ひます。リハビリを継続することで、「〇〇ができるようになったよ」「痛みが少なくなってきた」などの報告をしてくれたり、徐々に表情が明るくなったりすることが嬉しいです。あには頼れる看護師さんがたくさんいます。利用者さんの体調面やリハビリ時の注意点をアドバイスしてくれたり、主治医と連絡をとってくれたり、緊急時にはかけつけてくれたりします。入院時のリハビリとは違い、在宅では何かあった時に一人に対応しなければいけないと不安に思ひていましたが、看護師さんのサポートがあるので私たちも利用者さんも安心してリハビリに取り組んでいます。在宅では専門性を生かしながら、幅広い役割や視点をもって多職種や家族と連携を図り、長い期間利用者さんを支え続けることがやりがいと感じています。

ai 訪問看護リハビリステーションあいらからの訪問リハ

かかりつけ医の訪問看護指示書に従ってリハを実施します。特徴としては、1~3カ月に1回は、訪問看護師が訪問し健康チェック等を行います。看護師とセラピストで相談して看護計画を立て、全身状態を把握し、看護師と密に連携をとりながらリハを行っています。

詳しくはこちら▶



自宅でリハと一緒に頑張っています!

今後の目標

作業療法士の専門性である『生活全般のリハビリを行い、「からだ」だけではなく「こころ」をサポートする』という点を生かし、利用者さんや家族の方の気持ちに寄り添いながら、その人らしい生活が送れるようにリハビリを提供していきたいと思ひます。



訪問看護リハビリステーションあいら訪問エリア

訪問リハビリテーションの

一日の流れ

利用者さん、利用者さんの家族、ケアマネジャーさんと連携して情報共有をしています。



事務処理
・明日の準備・カルテ記入